

# 三者懇談会について

## 1 はじめに

私が勤務する学校では、新型コロナウイルス拡大防止のために、4月5日が臨時休校となり、今年に限り1学期の保護者会が夏休み中に行われることになりました。これまでの経験から個人懇談会(三者懇談会)の持ち方について整理してみました。

## 2 担任が生徒のことにについて保護者に話すということは

担任が生徒のことにについて保護者に話す内容は、保護者からすれば、担任が自分の子どもをどのように見ているかという判断材料となる。担任は子どものためをと思い、「こんなところを直すともっと良くなる」ということを話すことは当然である。しかし、こういったことをたくさん伝えると、“担任の先生は自分の子どものことをよく思っていない”とか、“担任の先生は私の子と合わない”とかいったふうに思われることがある。問題行動が多い生徒の保護者についても同様である。一方、良いところをたくさん褒めると、“担任の先生は自分の子どものことをよく見てもらっている”と思われることが多い。こうなれば関係性もよくなる。

言い方も大切である。同じことを伝えるにしても、言い方一つで伝わり方が変わる。生徒・保護者がどのように受け止めたかによって、その後の行動も変わるといったことは十分に考えられる。

## 3 懇談会で話す内容の準備

### (1) 良い姿を探す

具体的な行動、具体的な場面、具体的なエピソードで一人ひとり全員を褒めたい。授業の中からと生活の中から、それぞれで良い姿を紹介したい。そのためには、意識的にそういった姿を探すということが必要である。特に、気になる子や問題行動が多い子は、良いところをたくさん探したい。問題行動を起こした場合は、指導後の変化で褒めれば良い。少しでも良くなったことを褒める。おとなしくて、まじめで、目立たない子は、“遅刻がない、服装や身だしなみがきちんとしている、掃除などの取り組みも丁寧で熱心、周りが騒いでも、それに乗っていかない”といった具体例をたくさん挙げ、「こういったことから、節度があって落ち着きがあると思います。私はいつも感心して見ています。」と褒めると良い。

### (2) 記録に残していく

たくさんの良い姿を伝えるために、ノートに記録しておくが良い。良い姿や良い行動を見つけたときには具体的にエピソードが語れるように記録する。望ましくない行動の場合は、そのとき指導した内容を記録する。

ノートの見開き2ページを一人分とする。保護者会の際に、このノートを開けていても、他の生徒のことは見られないからである。ノート1ページを一人分とした場合は、ノートを半分に折って、他の生徒のところが見えないようにする。

年度初めにノートを用意し、直ちに記録を開始する。年度当初は、生徒の姿を初めて見ることになるので、担任は一人ひとりがどんな生徒かを意識して見ているはずである。こんな生徒だと感じた時に、エピソードを含めて記録する。4月末か5月初めに家庭訪問がある。記録した生徒のよい姿を知らせると良い。家庭訪問で出された話題を記録することは言うまでもない。

個人懇談会を迎えるに当たって、何を話すかをまとめることになる。これまでの姿をノートで振り返りながら、話す内容をノートにまとめておく。これにより、生徒の良い姿を伝えることが容易となり、また、家庭訪問での話との一貫性や整合性が取れる。

## 4 懇談会

## (1) 時間を守る

保護者はこの日のために仕事等を調整して学校に来ている。教師も時間を守るのは当然である。決められた時間内で懇談を行うべきだが、延長してしまうことも多い。時間が延長したとしても、最後の方の保護者が長く待たされるということがないように、調整の時間を入れておくと良い。私の場合は、1時間ごとに一人分の懇談時間を空けていました。時間調整のための時間の他、話し合いを記録する時間や教師の休憩時間も必要である。ゆとりある計画を立てたい。

## (2) 教師から伝える内容

保護者に伝える内容は生活面と学習面である。私の場合、生活面から話すことが多かったです。ノートに記載されていることや、他の先生からもらったコメントから、良いところを具体的なエピソードを交えてたくさん伝える。保護者からそんな細かいことで褒めてくれるのかと言われたことがある。「そんな細かいことであったとしても、そういった心がなければ、その行動は現れなかったはずですよ。私が見つけた行動は細かいことかもしれませんが、そういった心を持っているのだから、私が見えていないところで、その心でもって行動したことがたくさんあるはずですよ。」と話しました。

課題は1つに絞りたい。課題の多い生徒も同様である。これが変われば生活が変わってくるというもの1つにするとよい。

## 5 おわりに

人(教師)によって話す内容が違うと思います。課題を指摘することも大切ですが、褒めて育てる方が効果的だと思います。